

# 2021年3月期決算 会社説明会

2021年6月14日

山口フィナンシャルグループ

# 目次

## I. 2020年度決算概要 3

- 1) 2020年度決算概要(連結) 4
  - 経常利益増減要因(連結) 5
  - 2020年度決算概要(銀行単体) 6
- 2) 貸出金残高 7
- 3) 貸出金利回り／利息 8
- 4) 与信費用／不良債権 9
- 5) 役務関連収益 10
- 6) 有価証券 11
- 7) 自己資本比率(連結・銀行単体) 12
- 8) 2021年度通期業績予想(連結・銀行単体) 13
  - 経常利益増減要因(連結) 14

## II. 新型コロナウイルスへの対応 15

その他：参考資料

## III. 中期経営計画の進捗 17

- 中期経営計画のビジネスモデル 18
- 中期経営計画2019におけるこれまでの取り組み／成果 19
- 金融モデルの“SHINKA” 20
  - 法人事業戦略－事業性評価活動／法人部門収益／法人関連手数料／信用リスク管理 21
  - 法人事業戦略－ワイエムコンサルティング (YMCC) 22
  - 法人事業戦略－収益力強化に向けた取り組み 23
  - リテール事業戦略－ライフプランニング活動の強化 24
  - リテール事業戦略－保険ひろば／ワイエムライフプランニング／ローンビジネス 25
- 地域共創モデルの確立 26
  - 人材紹介 (YMキャリア) 28
  - 福利厚生代行 (イネサス) 29
  - 地域商社 (地域商社やまぐち) ／地方創生コンサルティング (YM-ZOP) 30
- イノベーション／データ・DX／マーケティング／投資 31
  - DX推進 32
  - 投資実績 33
  - 投資事例と今後の展開 34
- 経営基盤の強化 35
  - OHR／経費／人員配置 36
  - チャネル 37
  - 銀行文化と起業家精神の融合 38

## IV. 愛媛銀行との業務提携 39

## V. 配当／政策投資株式 41

# I . 2020年度決算概要

# 1) 2020年度決算概要(連結)

(億円)	2019年度	2020年度	前期比
コア業務粗利益	986	1,220	+234
資金利益	881	1,015	+134
うち預貸金利益	708	669	▲ 39
うち有価証券利息配当金	215	373	+158
うち投信解約益	102	274	+171
役務取引等利益	137	158	+20
経費 (△) (臨時処理分除く)	694	670	▲ 23
コア業務純益	292	550	+258
投信解約益除く	189	275	+86
経常利益	366	369	+3
親会社株主に帰属する当期純利益	253	249	▲ 4

与信関係費用 (△)	121	94	▲ 27
経費 (△) (臨時処理分含む)	692	645	▲ 47
有価証券関連収益	372	230	▲ 141

## 決算概要

### ▶▶ 経常利益：369億円

有価証券関連収益の減少があったものの、役務取引等利益の増加、経費の削減等により、前年同期比3億円増加

### ▶▶ 主な変動要因 (詳細は次ページに記載)

- ・有価証券関連収益の減少 (▲141億円)  
(内訳)
  - ・利息配当金 (+158億円)
  - ・売買損益等 (▲299億円)
- ・役務取引等利益の増加 (+20億円)
- ・経費 (臨時処理分含む) (△) の減少 (▲47億円)
- ・与信関係費用 (△) の減少 (▲27億円)

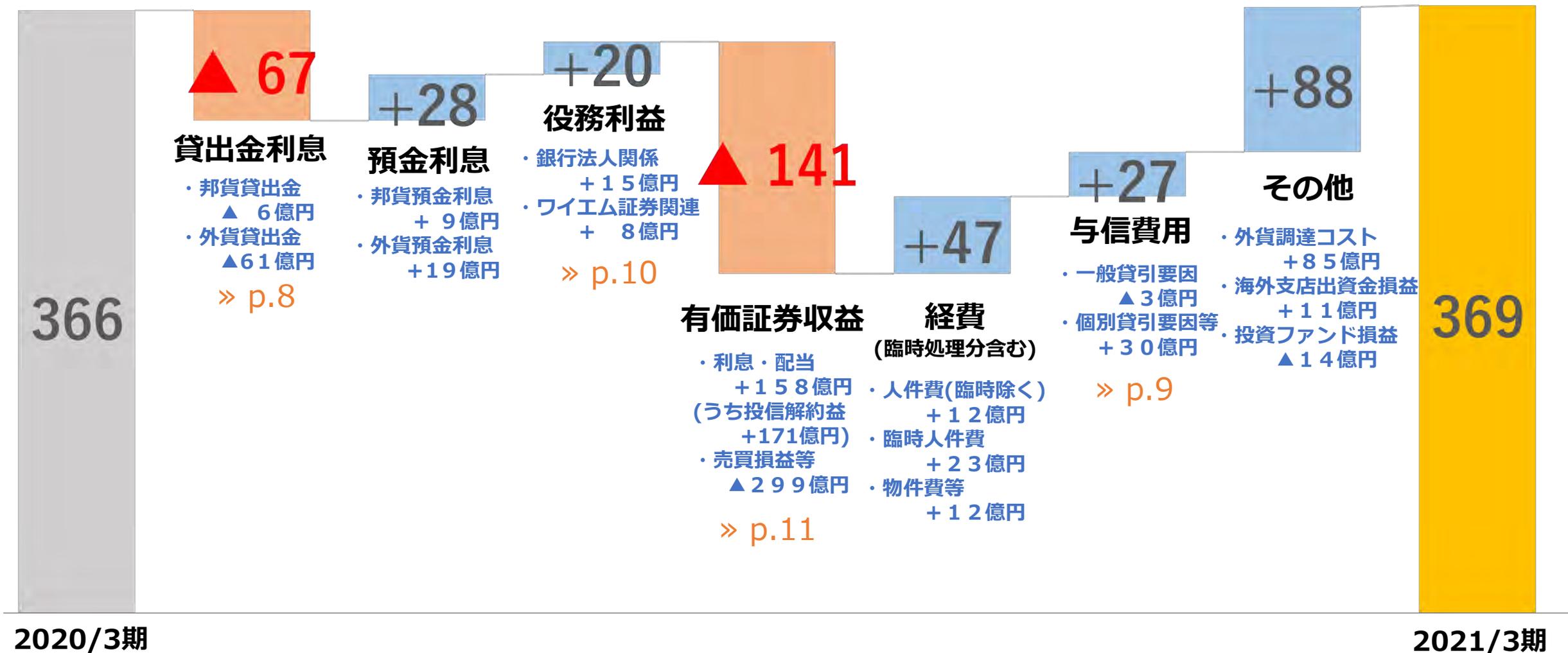
## 連単差

3行合算当期純利益	324億円
のれん償却費	▲3億円
FG連結調整等	▲72億円
YMFG連結純利益	249億円

# 2020年度決算 経常利益増減要因(連結)

» 貸出金利息、役務利益、有価証券収益、与信費用については各ページに詳細記載

(単位:億円)



# 2020年度決算概要(銀行単体)

» 3行とも資金利益や役務取引等利益が増加し、3行合算の経常利益442億円（前期比+4億円）

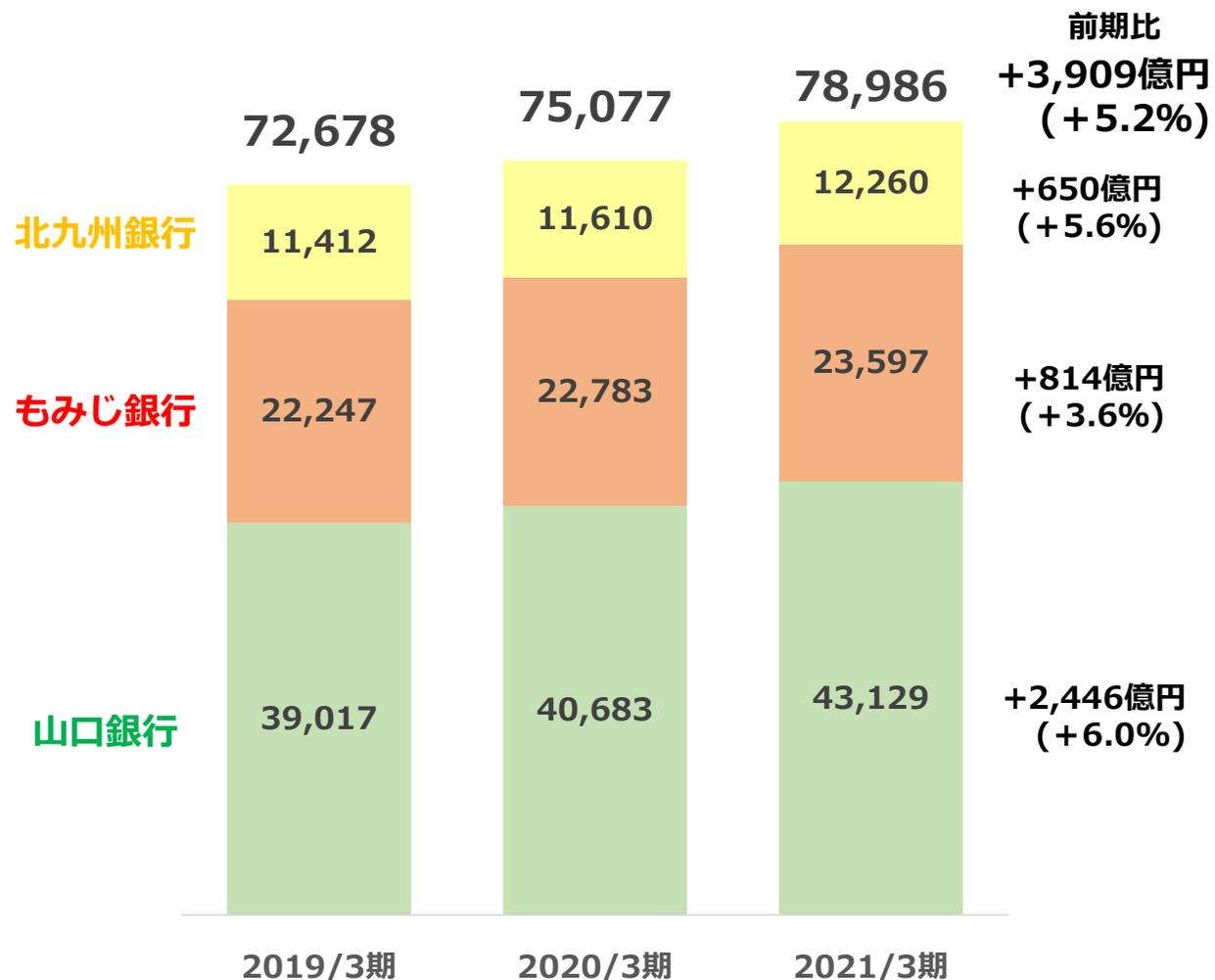
(億円)	3行合算		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前期比		前期比		前期比		前期比
コア業務粗利益	1,134	+234	663	+159	351	+69	120	5
資金利益	1,022	+130	596	+82	313	+46	112	+1
うち預貸金利益	674	▲ 37	348	▲ 33	219	▲ 2	106	+0
うち有価証券利息配当金	373	+158	279	+122	88	+36	5	+0
うち投信解約益	274	+171	204	+125	70	+46	0	+0
役務取引等利益	89	+18	61	+10	23	+5	4	+1
経費(△) (臨時処理分除く)	512	▲ 28	257	▲ 14	182	▲ 11	72	▲ 2
コア業務純益	621	+262	405	+174	168	+81	47	+7
経常利益	442	+4	277	▲ 29	93	+16	72	+17
当期純利益	324	▲ 9	198	▲ 31	73	+10	52	+11
与信関係費用(△)	87	▲ 30	30	▲ 28	42	▲ 10	14	+8
経費(△) (臨時処理分含む)	487	▲ 50	246	▲ 22	170	▲ 22	70	▲ 5
有価証券関連収益	227	▲ 145	143	▲ 119	44	▲ 42	39	+16

## 2) 貸出金残高

- » 貸出金平残は3行すべてで増加し、前期比+3,909億円 (+5.2%)、うち邦貨貸出金で+3,482億円 (+4.9%)
- » 事業体別では大企業の伸びが大きく、前期比+2,013億円 (+11.4%)

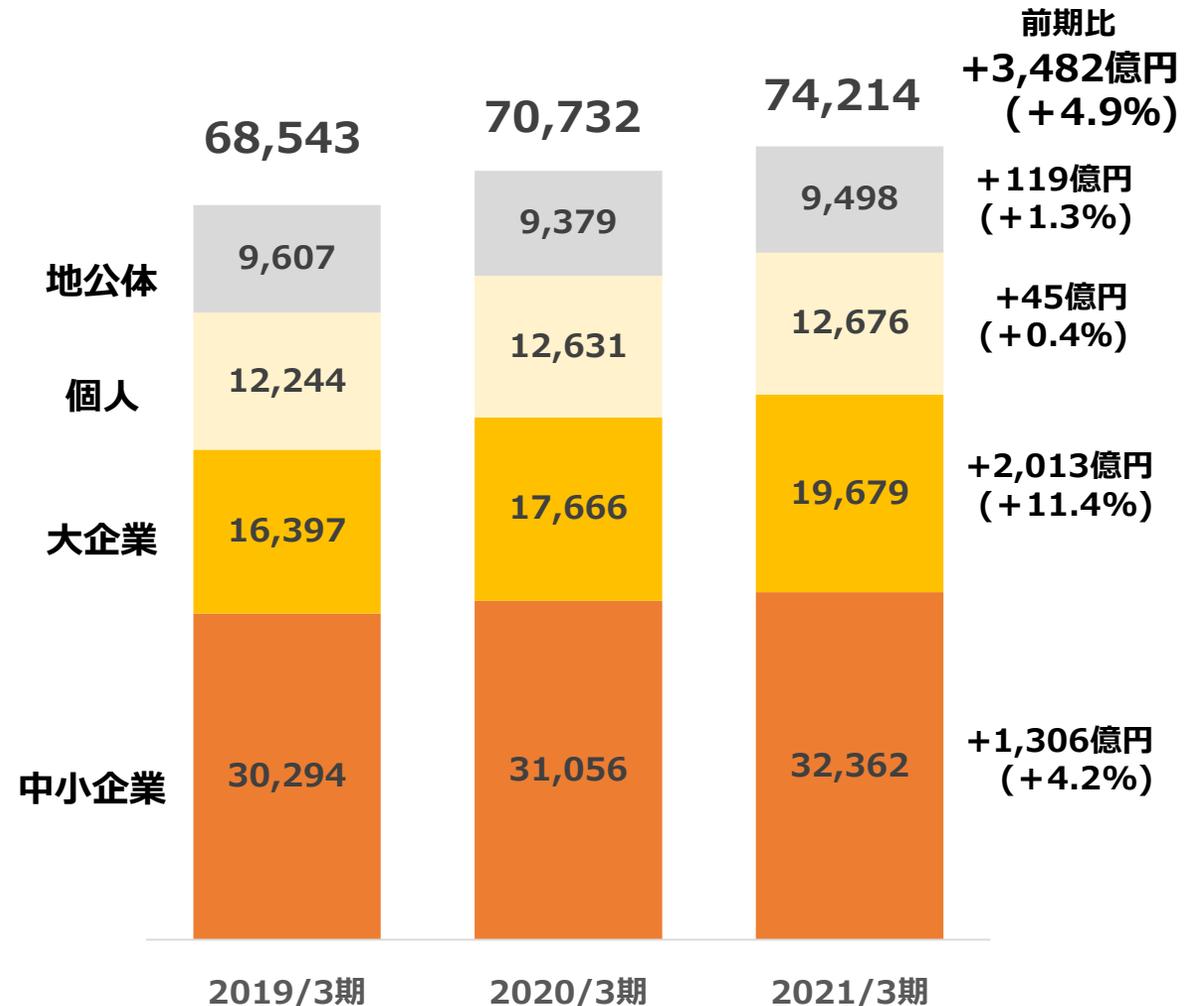
### 貸出金平残（銀行別）

(単位:億円)



### 邦貨貸出金平残（事業体別）

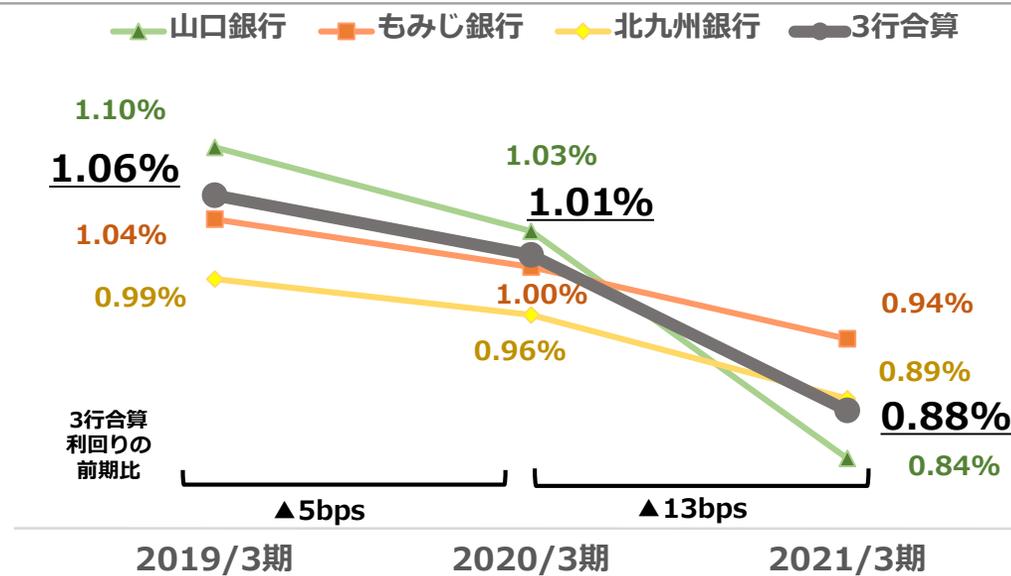
(単位:億円)



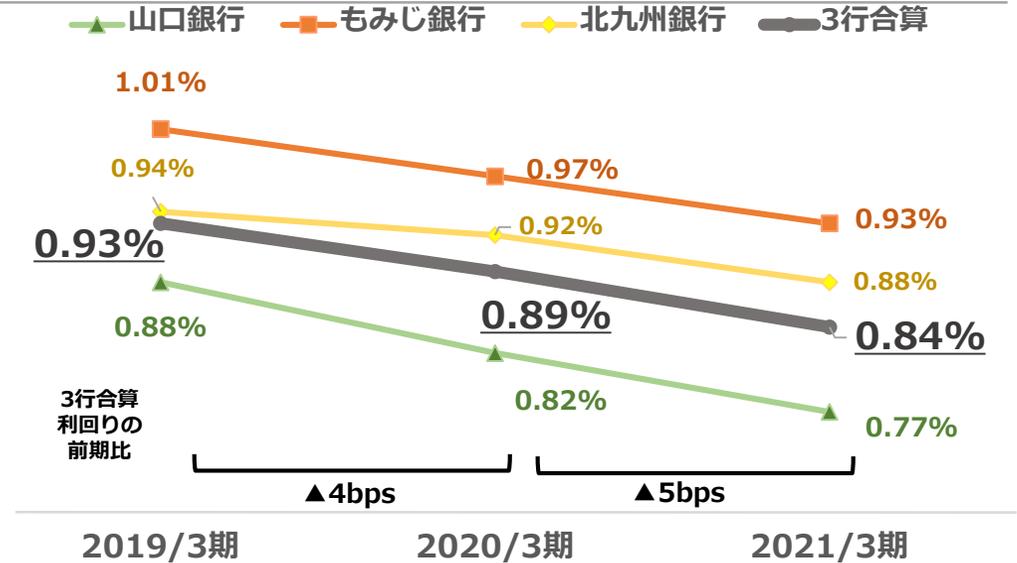
### 3) 貸出金利回り／利息

- ▶ 貸出金利回りは、外貨貸出金利回りの低下の影響を大きく受け、3行合算ベースで0.88%（前期比▲0.13%）
- ▶ 3行合算の貸出金残高は堅調に増加しているが、利回りの低下をカバーできず貸出金利息は減少

#### 貸出金利回り

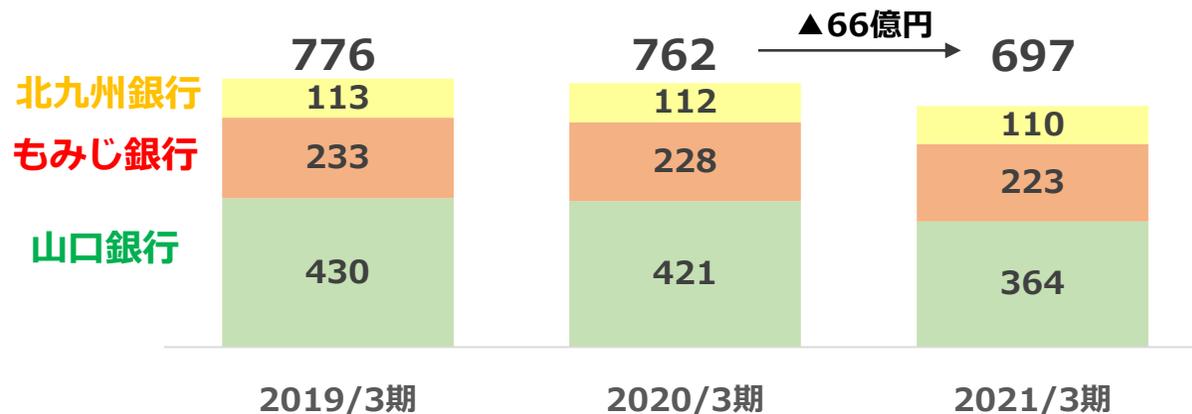


#### 邦貨貸出金利回り



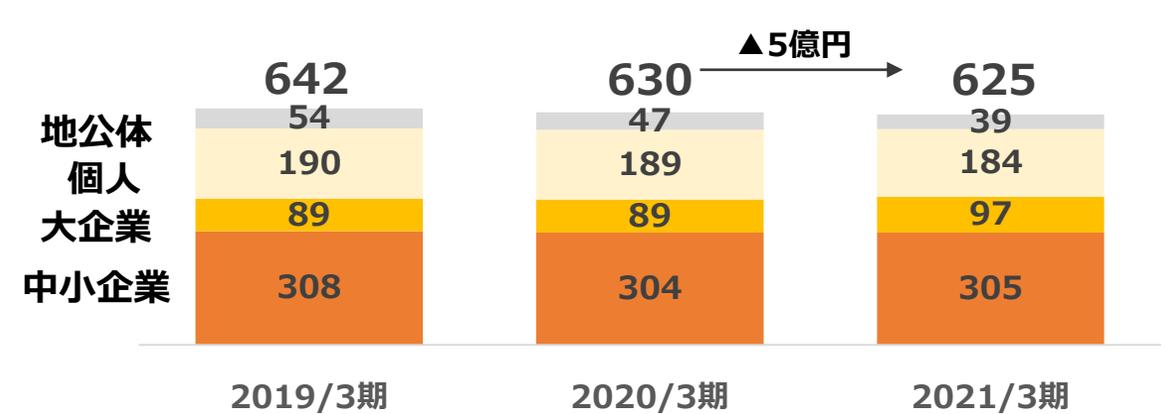
#### 貸出金利息(銀行別)

(単位:億円)



#### 邦貨貸出金利息(事業体別)

(単位:億円)

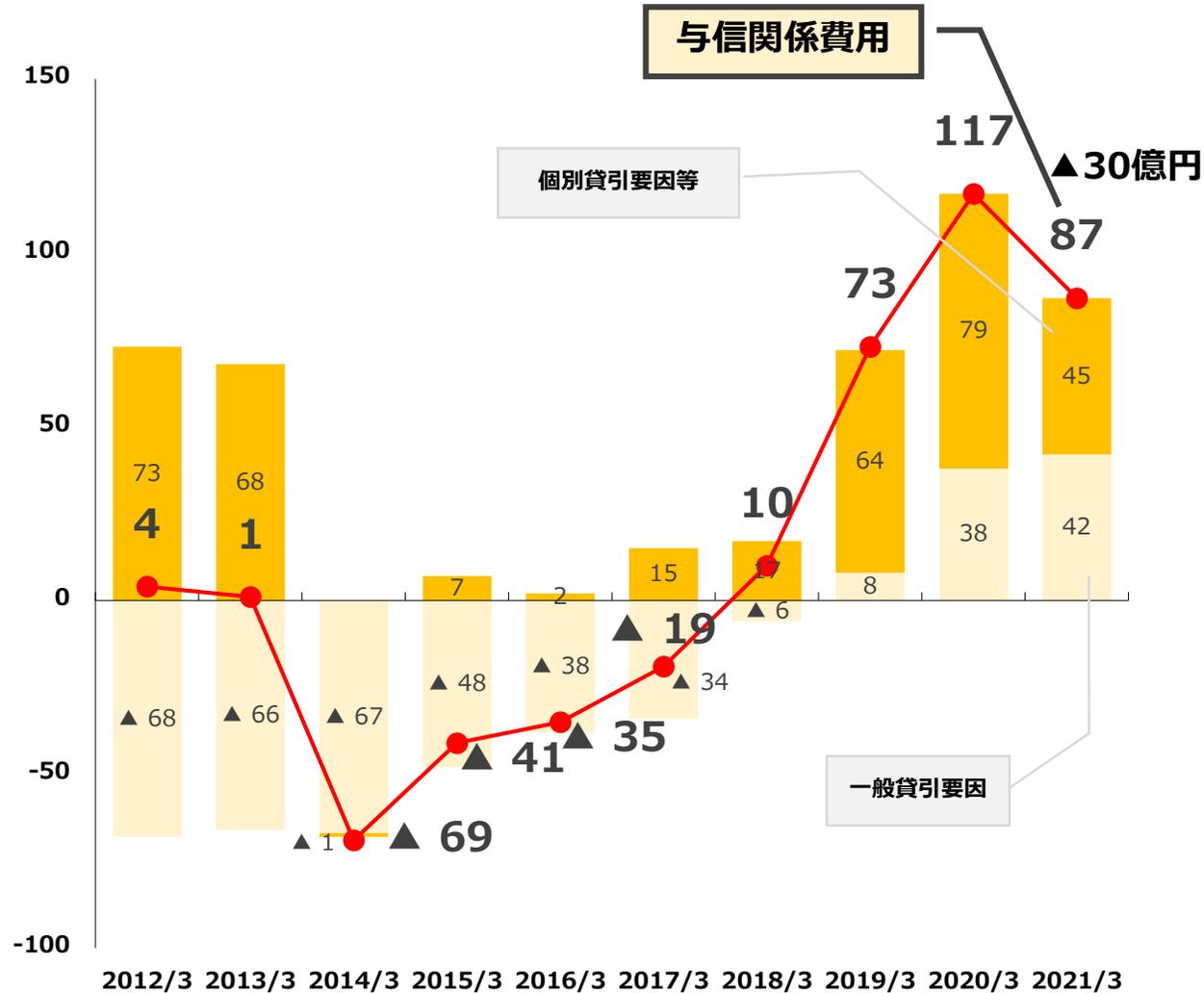


# 4) 与信費用／不良債権

- › 与信関係費用(3行合算)は、個別貸倒引当金の減少を主因として、前期比▲30億円
- › 金融再生法開示債権残高における開示債権比率は前期比▲0.03%

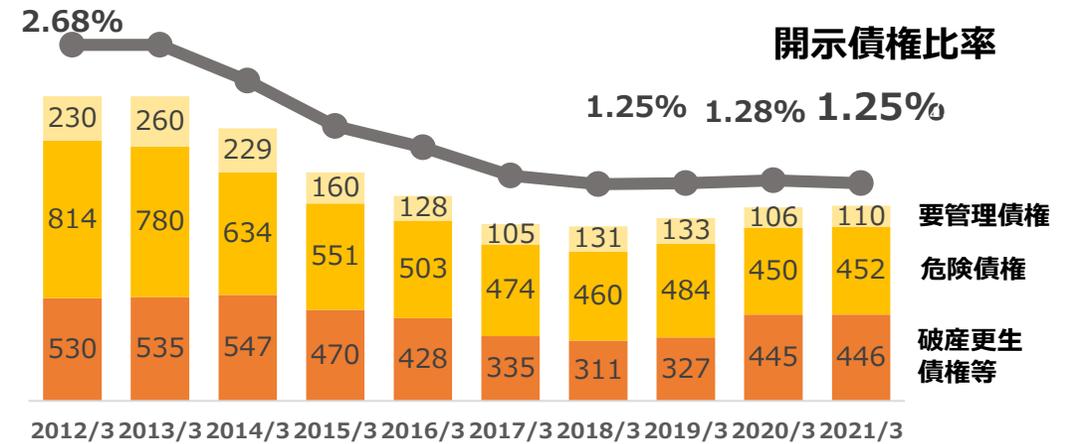
## 与信関係費用(3行合算)

(単位:億円)



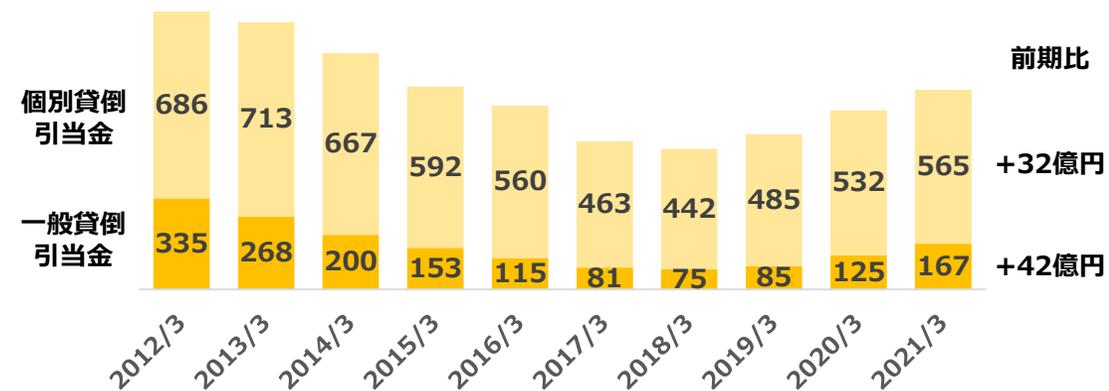
## 金融再生法開示債権残高(3行合算)

(単位:億円)



## 貸倒引当金残高(FG連結)

(単位:億円)

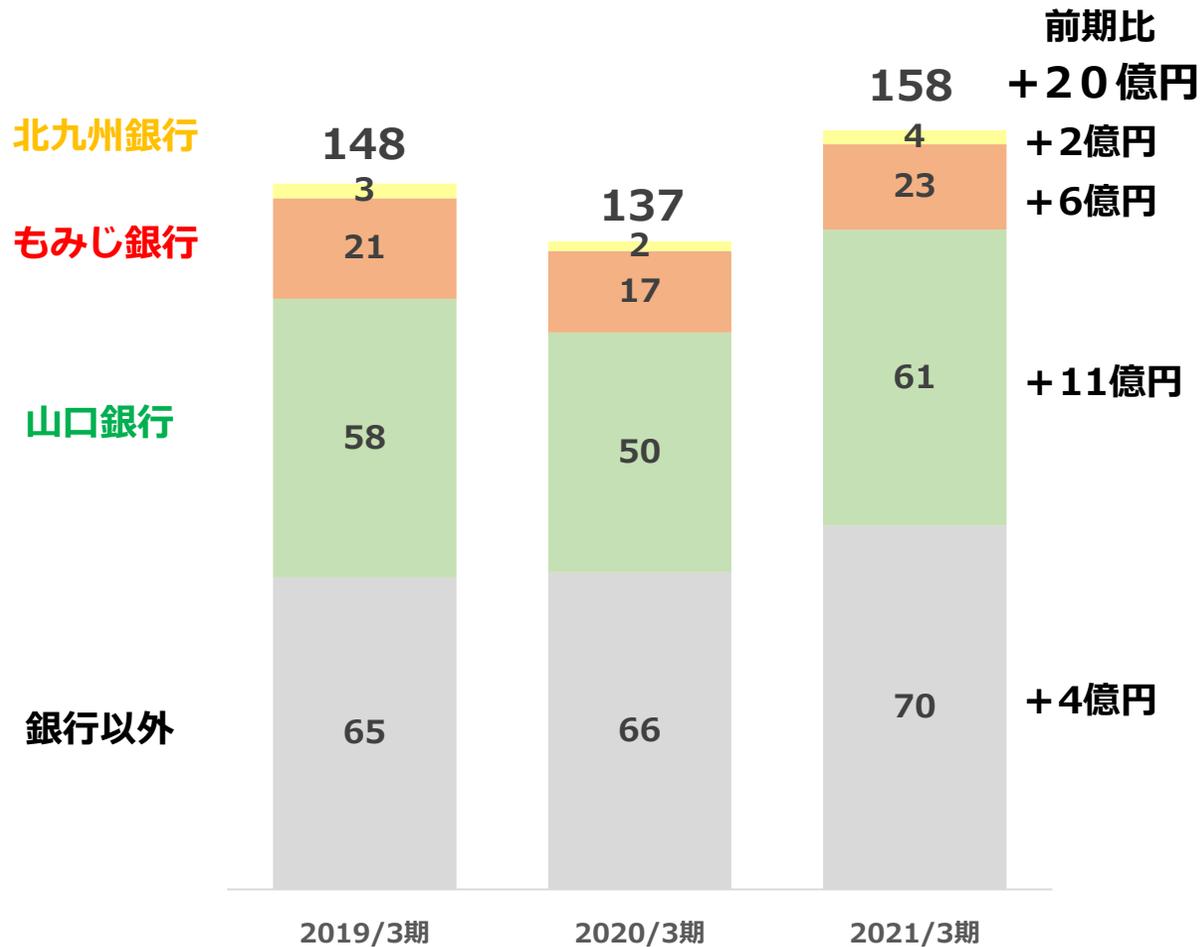


## 5) 役務関連収益

» ワイエム証券・ワイエムコンサルティング関連収益、銀行法人関係手数料(融資手数料、私募債、有償ビジマ等)の増加を主に、連結役務取引等利益は前期比+20億円

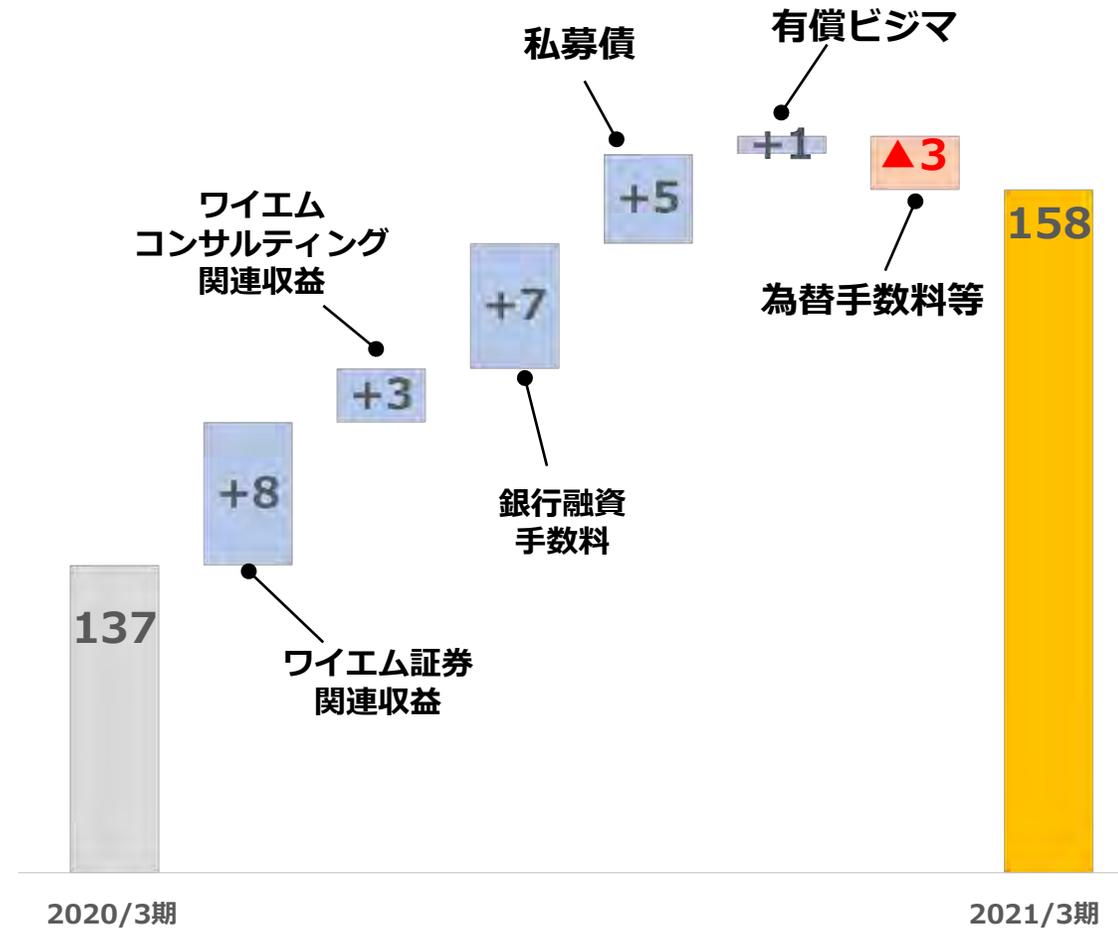
### 役務取引等利益(FG連結)

(単位:億円)



### 変動要因の主な内訳 (FG連結)

(単位:億円)



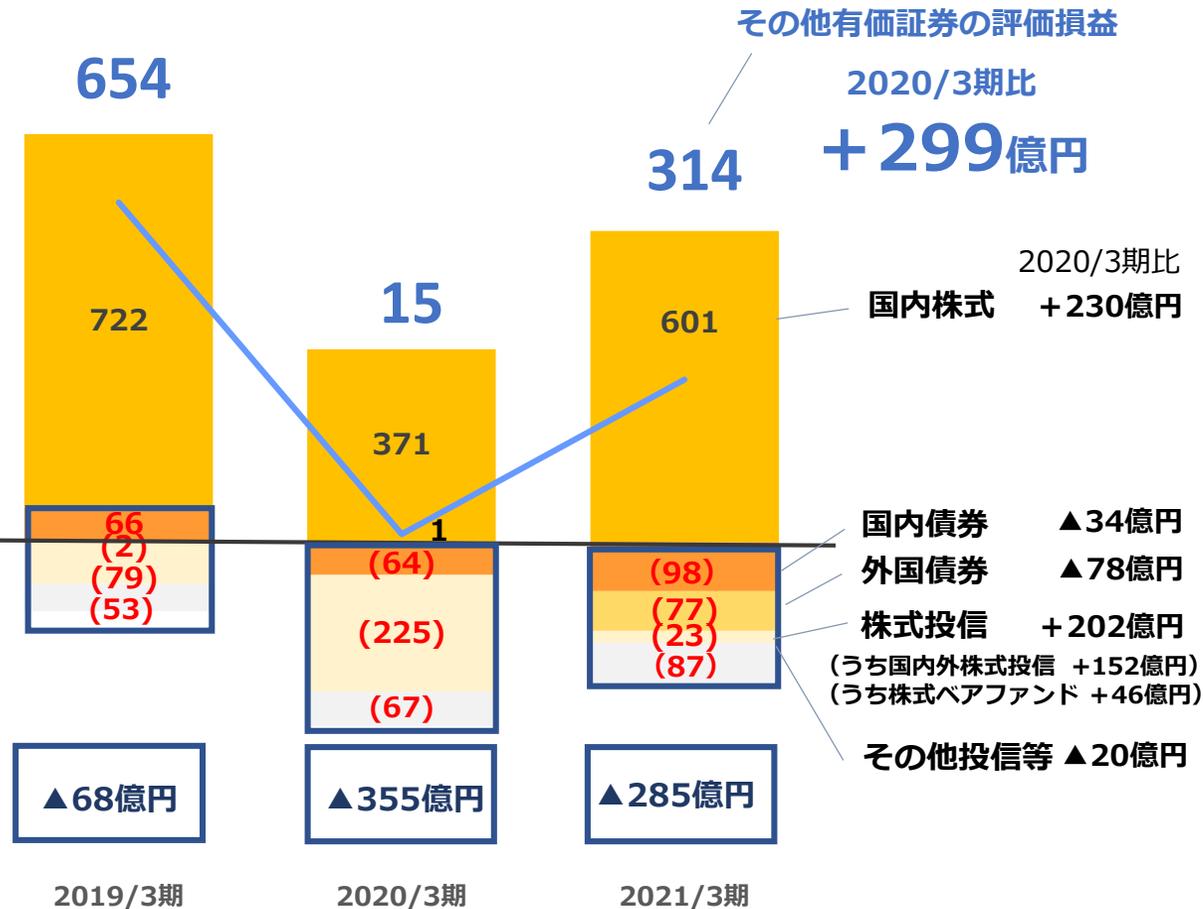
## 6) 有価証券

- » 2021/3期の有価証券収益(3行合算)は前期比▲145億円となった一方、その他有価証券の評価損益は同+299億円の改善
- » 評価損益の改善に注力し、株式投信(※)の収益は▲53億円(うち▲322億円はロスカット)に留まる

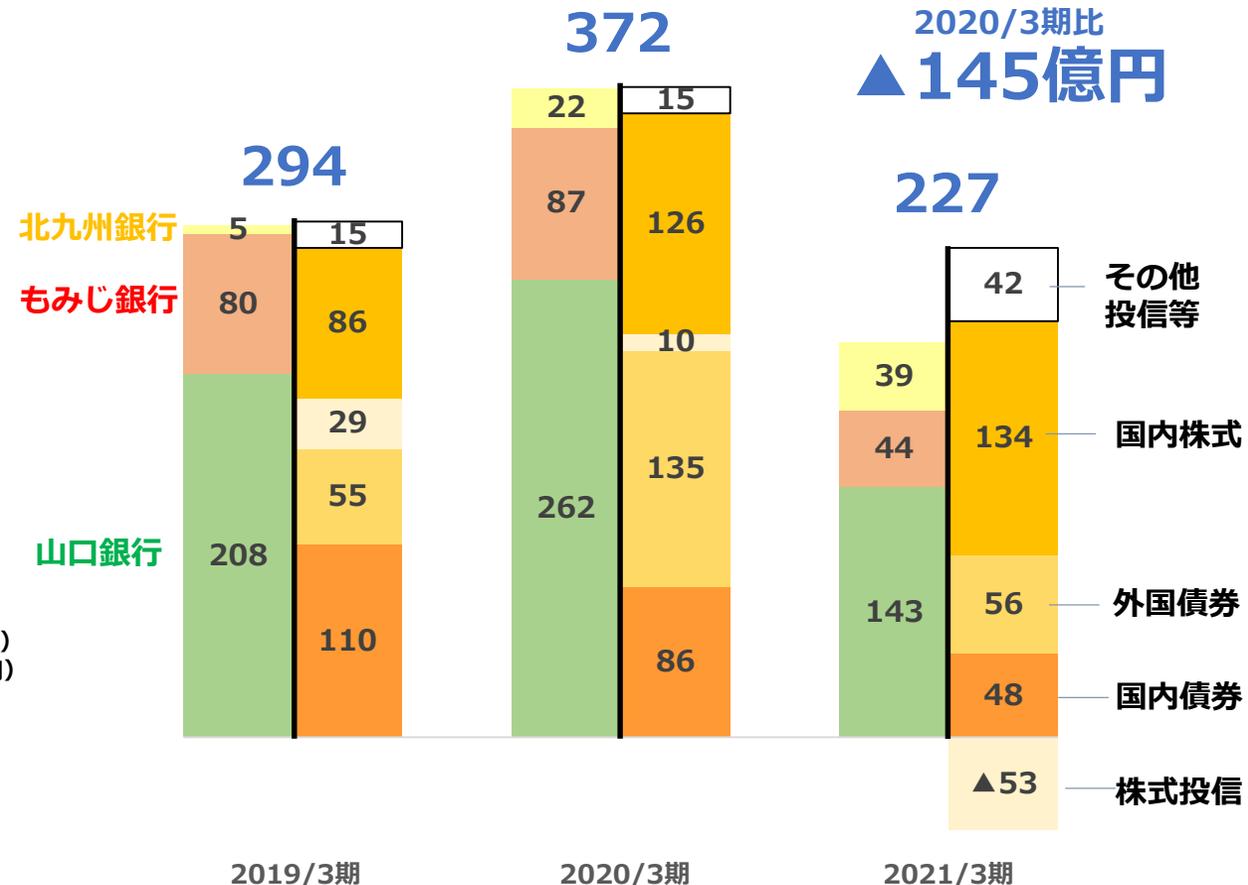
※株式投信：国内外株式投信(ベアファンド等含む)

### その他有価証券の評価損益(3行合算) (単位:億円)

うち純投資部門



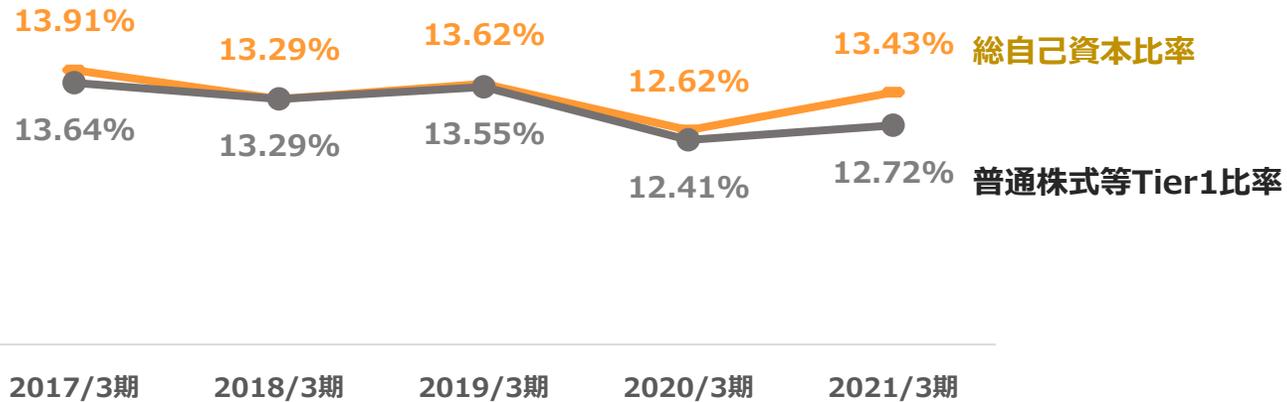
### 有価証券関連収益(3行合算) (単位:億円)



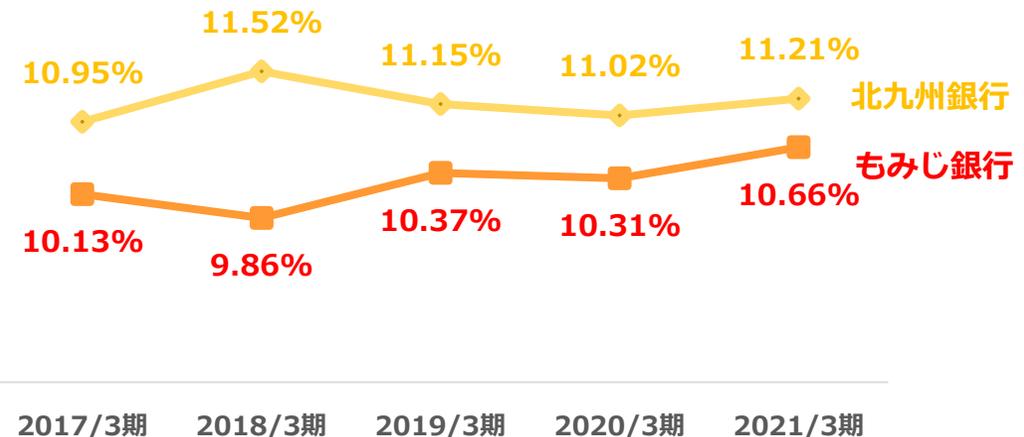
## 7) 自己資本比率(連結・銀行単体)

» 利益剰余金積み上げ、劣後債調達等を主因とし、連結総自己資本比率は2020/3期比+0.81%の13.43%

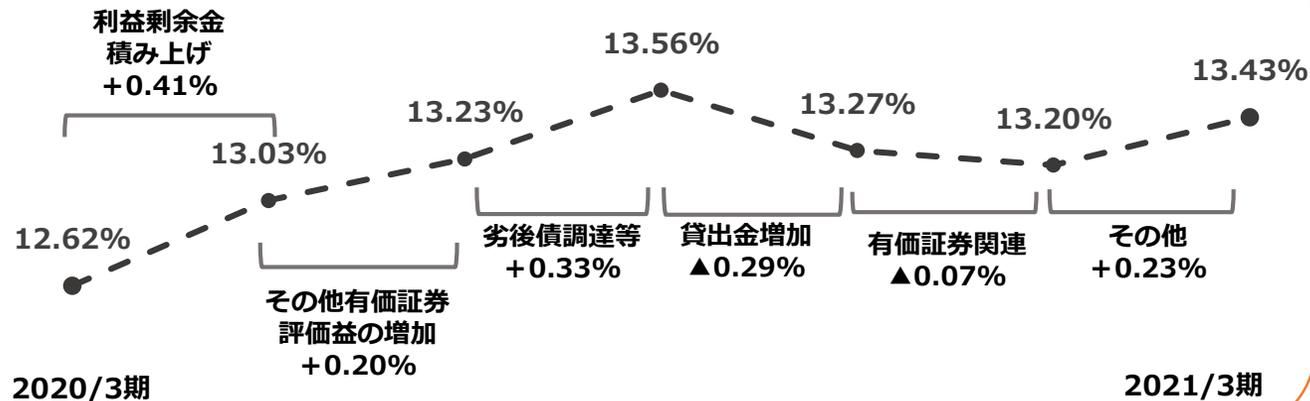
### 山口フィナンシャルグループ連結



### グループ内銀行の自己資本比率



### ◆ 主な変動要因 (FG連結総自己資本比率)



※山口銀行は国際統一基準により、もみじ銀行および北九州銀行は国内基準によりそれぞれ算出

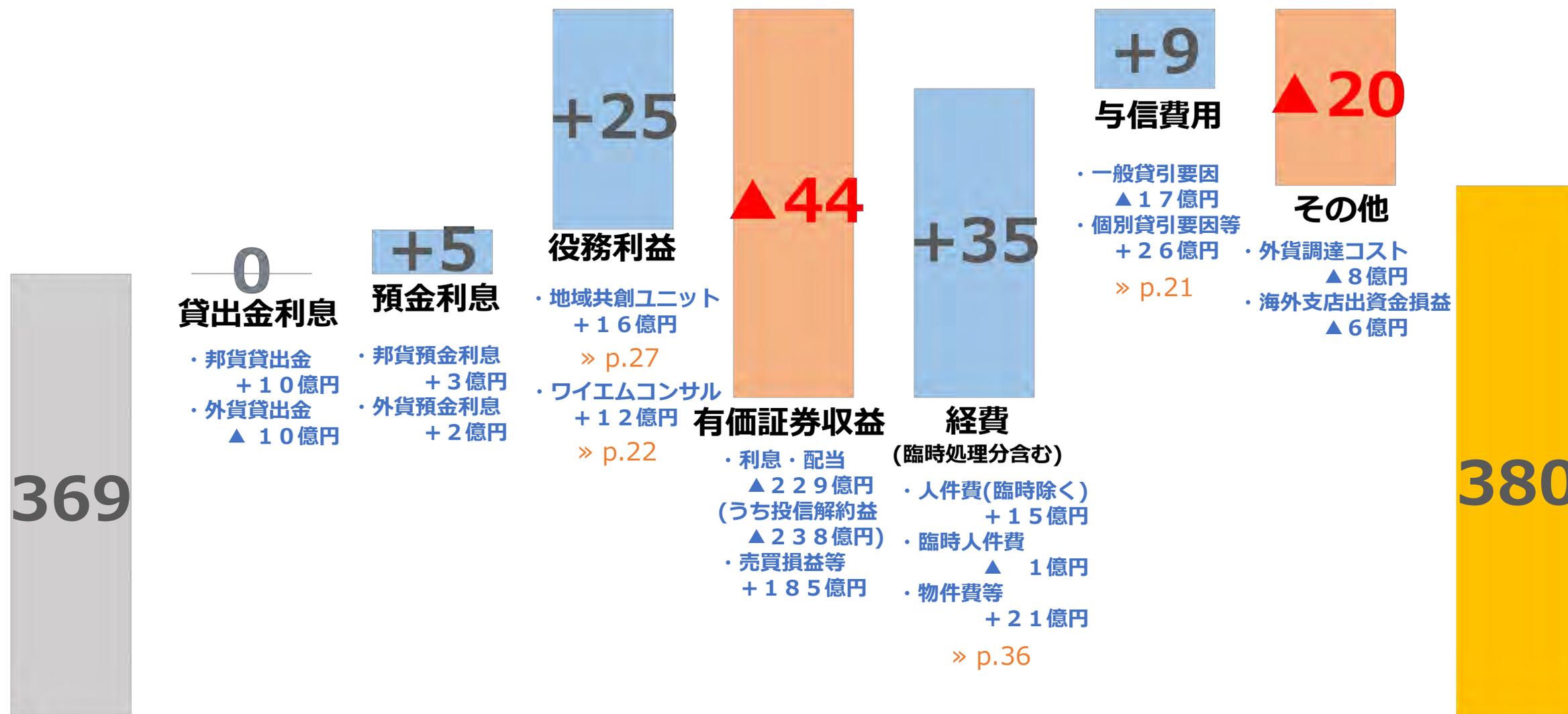
## 8) 2021年度通期業績予想（連結・銀行単体）

» 経常利益380億円、当期純利益260億円を見込む

(億円)	FG連結		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前期比		前期比		前期比		前期比
コア業務粗利益	1,000	▲ 220	487	▲ 175	266	▲ 84	126	+6
資金利益	788	▲ 227	433	▲ 162	245	▲ 68	117	+4
うち預貸金利益	674	+5	346	▲ 1	220	+1	112	+5
うち有価証券利息配当金	144	▲ 229	104	▲ 174	34	▲ 54	4	+0
うち投信解約益	36	▲ 238	28	▲ 175	7	▲ 62	0	+0
役務取引等利益	183	+25	56	▲ 5	19	▲ 3	6	+2
経費 (△) (臨時処理分除く)	633	▲ 36	239	▲ 17	169	▲ 13	68	▲ 4
コア業務純益	366	▲ 183	247	▲ 157	97	▲ 71	58	+11
経常利益	380	+10	300	+22	78	▲ 15	48	▲ 24
(親会社株主に帰属する)当期純利益	260	+10	225	+26	65	▲ 8	35	▲ 17
与信関係費用 (△)	84	▲ 9	20	▲ 9	41	+0	16	+2
経費 (△) (臨時処理分含む)	610	▲ 35	223	▲ 22	162	▲ 7	66	▲ 4
有価証券関連収益	186	▲ 44	145	+2	35	▲ 9	4	▲ 34
うち政策投資株式売却益	0	▲ 111	0	▲ 48	0	▲ 24	0	▲ 33
貸出金平残	80,859	+1,873	44,256	+1,127	23,863	+266	12,740	+480

# 2021年度通期業績予想 経常利益増減要因(連結)

(単位:億円)



2021/3期

2022/3期

## Ⅱ. 新型コロナウイルスへの対応

# 新型コロナウイルスへの対応について

## お客さまへの資金繰り支援等対応状況

### 2020年度

- 取引先の**資金繰り支援**に最優先で対応し、**デットファイナンス**に限らず、**エクイティファイナンスによる支援を実施**
- サービサー設立**により、さらなる**企業支援体制を整備**
- クラウドファンディング活用による事業者支援**にも取り組む

### 2021年度

- 前期と同様、取引先の**資金繰り支援**を最優先で実施、特に「**コロナ7業種**」に対する**エクイティ性資金の供給**を積極的に行う
- にしせとサービサー営業開始（7月）※**外部より専門家を招聘予定**
- 「**キタキュウYELLプロジェクト**」（夏にいく券）への取り組みなど今後も更なる支援を実施していく

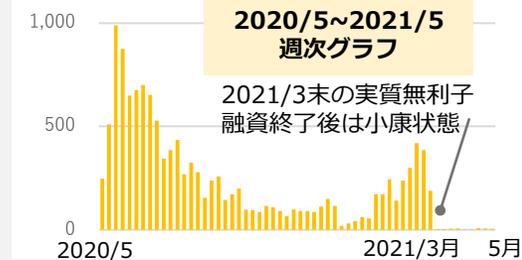
### 【新型コロナウイルス関連融資等対応状況（3行合算）】

#### ◆ 実行件数・金額

	実行件数	金額
融資	13,523件	4,142億円
うち保証協会	12,828件	2,500億円
条件変更	1,525件	

※2021年3月末時点

#### ◆ 申込受付件数推移（単位：件）



### 【資本性劣後ローン・コロナ対策ファンド取組実績】

山口銀行	20億円（9件）
もみじ銀行	14億円（9件）
北九州銀行	6億円（4件）

※2021年3月末時点

### 【にしせと地域共創債権回収(株)設立（通称：にしせとサービサー）】

- 西瀬戸パートナーシップ協定で提携している愛媛銀行と共同設立
- サービサーがもつ債権買取、債務整理機能を通じて**抜本的な地域企業再生**に取り組む

### 【クラウドファンディングの活用（株式会社KAIKA）】

#### ≫ 「頑張るお店応援プロジェクト」（山口県内の事業者支援が目的）



参加店舗数 : 2,117店舗  
累計支援者数 : 4,283名  
支援金総額 **181,459**千円（達成率**101%**）

#### ≫ 「キタキュウYELLプロジェクト（春にいく券）」（北九州市内の飲食店支援が目的）



参加店舗数 : 517店舗  
累計支援者数 : 2,732名  
支援金総額 **55,068**千円（達成率**275%**）

### 【実質無利子融資の残高・業種別内訳】

3行合算 **1,979億円**

